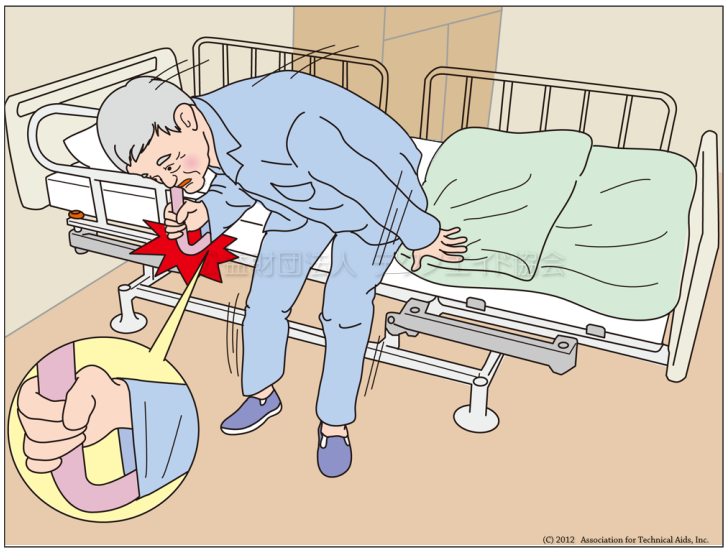
福祉用具ヒヤリハット　研修教材（講師用）

Case：29
ベッド用グリップにパジャマがひっかかり、転倒しそうになる

場面の説明

ベッドから降りようとしたところ、大きく開いた袖口がベッド用グリップに引っかかりバランスを崩した



利用シーン	起居・就寝 移乗 立ち座り
主な利用場所	寝室
介護保険の種目	特殊寝台付属品
分類コード (CCTA95)	181227 (ベッド用サイド・レール，ベッド固定式起き上がり手すり)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

袖口が引っかかり転倒する事例のほか、襟が引っかかって窒息する事故事例が報告されています。洋服を引っかけやすい突起がないかベッドやベッド用グリップを確認し、リスクとして認識することが重要です。新しいタイプのベッドやベッド用グリップではこの点の改善が進んでいるので、可能であれば機種の変更をお勧めします。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：袖口の広いパジャマを着ていた
モノ：ベッド用グリップが引っかかりやすい形だった
環境：このようなリスクに対して注意を喚起してくれる人が周囲にいなかった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2025 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.

福祉用具ヒヤリハット　研修教材（受講者用）

日付：	所属：	氏名：

Case：29

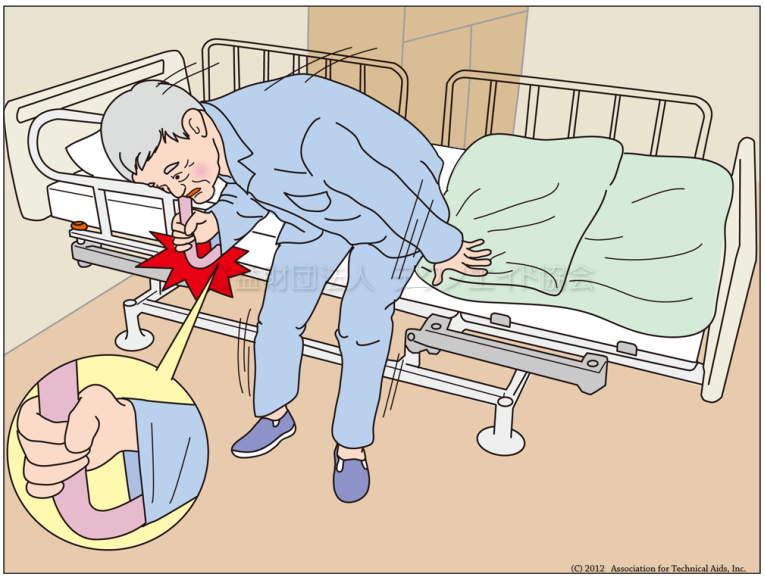
ベッド用グリップにパジャマがひっかかり、転倒しそうになる

事例詳細

回答前に見ないこと

場面の説明

ベッドから降りようとしたところ、大きく開いた袖口がベッド用グリップに引っかかりバランスを崩した



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ

作成：公益財団法人テクノエイド協会

Copyright 2025 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.